※令和３年度以前入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（建築都市工学系 都市工学専科）

教科	工業科	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は答えのある決められた内容をするのではなく、各自が自分の興味のあるテーマを選び、その目標に向かって試行錯誤を繰り返しながら進めていくものです。１，２年生で学んだ知識を活かし、さまざまな資料を活用しながらテーマに沿った学習を行います。最終的には、研究成果としてまとめ、課題研究発表会にて参加者の前で発表します。

２　学習の到達目標

都市工学に関連する課題を設定し、専門的な知識と技術の深化・統合化を図るとともに、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を養う。さらに課題研究発表会を通して、プレゼンテーションの能力を習得する。課題解決型の学習を行う中で、忍耐強く物事に取り組む姿勢、問題を解決しようとする努力を身につけ、将来社会生活をうえでの「生きる力」を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	選択したテーマについて問題意識を高め、意欲的に取り組み、グループ内で協力し合いながら作業を行う。	年間計画をもとに、作業を展開し、試行錯誤を繰り返す中で、思考・判断・表現を行う。計画→実行→検証→改善を行いながら課題解決へ導いていく。	課題解決のため、各種資料を状況に応じて活用する技能。 積極的に作業に取り組む中で、技術を身につける。	定期的に検証、改善をすることで知識の深化につなげる。 研究成果を形にすることで、その理解を深める。 研究成果をまとめ、発表を行う。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 課題への取り組み 発表・発言 グループワークへの参加状況	学習状況の観察 課題への取り組み 成果物 報告書の作成 発表・発言 相互評価・自己評価	学習状況の観察 課題への取り組み 成果物 報告書の作成 発表・発言	学習状況の観察 課題への取り組み 報告書の作成 発表資料の作成 発表状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	テーマの決定と作業	課題研究のテーマを考える 決定テーマの年間計画を立てる 仮説の設定 作業内容の検討 テーマごとの作業 作業内容の検証 作業内容の改善	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○	a:選択したテーマに関心をもち、意欲的に取り組む態度 b:テーマに対してのさまざまな仮説を立てるなど、思考・判断・表現を繰り返す c:各種資料をもちよるなど、状況に応じて調べる技能 d:作業内容に対して、検証を行い、適切な改善を行う	学習状況 出席状況 報告書作成
1・2・3学期	研究作業	作業内容の検討 テーマごとの作業 作業内容の検証 作業内容の改善 中間報告	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a:選択したテーマに関心をもち、意欲的に取り組む態度 b:テーマに対してのさまざまな仮説を立てるなど、思考・判断・表現を繰り返す c:各種資料をもちよるなど、状況に応じて調べる技能 d:作業内容に対して、検証を行い、適切な改善を行う	学習状況 出席状況 報告書作成 成果物
3学期	研究作業と発表	作業内容の検討 テーマごとの作業 作業内容の改善 報告書の作成 発表資料の作成 研究発表	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:選択したテーマに関心をもち、意欲的に取り組む態度 b:テーマに対してのさまざまな仮説を立てるなど、思考・判断・表現を繰り返す c:各種資料をもちよるなど、状況に応じて調べる技能 d:研究をまとめ、発表する力	学習状況 出席状況 報告書作成 成果物 発表状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解